

都道府県名	茨城県		市町村名	小美玉市		地域再生計画名	水と緑の「やすらぎの里」地域再生計画					
計画期間	平成17年度～平成19年度		交付金交付期間	平成17年度～平成19年度								
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業			公共下水道(小美玉市野田地区) 浄化槽(旧小川町のうち公共下水道認可区域外及び農業集落排水施設整備済地区外)								
2) 地域再生計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指標		単位	従前値	数値			総合所見				
	指標1	旧小川町の下水道及び浄化槽の汚水処理人口普及率を30%から33%に向上	%	30	基準年度	38	事後評価	汚水処理施設整備交付金の活用により、公共下水道事業及び浄化槽設置補助事業の効率的な整備ができた。				
				平成16年度	平成19年度	○						
指標2		%										
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指標		単位	計画値	実績値			総合所見				
	その他の 数値指標1	公共下水道整備延長	m	1,800	1,634			△	若干整備延長が減少したものの、ほぼ予定通り施工できた。			
				—	53.1							
				—	1,103							
その他の 数値指標2	公共下水道整備面積	ha										
その他の 数値指標3	汚水処理人口	人										
その他の 数値指標4												
4) 実施過程の評価 (公共下水道のみ)	年度	整備延長(m)		整備面積(ha)		浄化槽設置基数		汚水処理人口(人)		汚水処理人口普及率(%)		実施状況の検証
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	平成17年度	675	740		9.8				224		11.6	
	平成18年度	735	400		21.5				398		13.8	
	平成19年度	390	494		21.8				481		16.5	
合計	1,800	1,634	—	53.1			—	1,103				
総合評価と今後の方策	・野田地区の汚水幹線を整備し、流域汚水幹線との接続を行ったことにより、今後の枝線整備及び供用開始の迅速化につないでいく。											

都道府県名	茨城県		市町村名	小美玉市		地域再生計画名	「ふるさとの水 きれい」再生計画					
計画期間	平成17年度～平成19年度		交付金交付期間	平成17年度～平成19年度								
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業			公共下水道(小美玉市高場、大谷、小曾納地区) 農業集落排水施設(小美玉市堅倉南部地区)								
2) 地域再生計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指標		単位	従前値	数値			総合所見				
					基準年度		事後評価					
	指標1	旧美野里町の汚水処理人口普及率を39%から53%に向上	%	39	平成16年度	47	平成19年度	○	全体の数値は目標値にとどいていないが、公共下水道に限っては従前値35.7%から目標値38%に達している。			
指標2		%										
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指標		単位	計画値	実績値		事後評価	総合所見				
	その他の数値指標1	公共下水道整備延長	m	11,600	10,726		△	若干整備延長が減少したものの、ほぼ予定通り施工できた。				
	その他の数値指標2	公共下水道整備面積	ha	56.4	99.4		○	整備面積には地域再生計画区外の一部も含むが、計画値を大きく上回った。				
	その他の数値指標3	汚水処理人口	人	613	623		○	整備面積が増えたこともあり、計画値を上回ることができた。				
	その他の数値指標4											
4) 実施過程の評価 (公共下水道のみ)	年度	整備延長(m)		整備面積(ha)		浄化槽設置基数		汚水処理人口(人)		汚水処理人口普及率(%)		実施状況の検証
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	平成17年度	2,680	4,199	23.5	48.9			255	262	36	36.6	汚水処理人口普及率が+0.6ポイントで順調に整備できた。
	平成18年度	3,660	2,685	17.4	13.2			189	203	37	37.4	汚水処理人口普及率が+0.4ポイントで順調に整備できた。
	平成19年度	5,260	3,842	15.5	37.3			169	158	38	38.1	整備面積の実績には地域再生計画区域外の一部も含まれる。
	合計	11,600	10,726	56.4	99.4			613	623			
総合評価と今後の方策	・公共下水道については、ほぼ計画通り推進できた。今後も引き続き効率的、計画的な整備を進めることで、更に生活環境の改善と自然環境の保全を目指していく。											